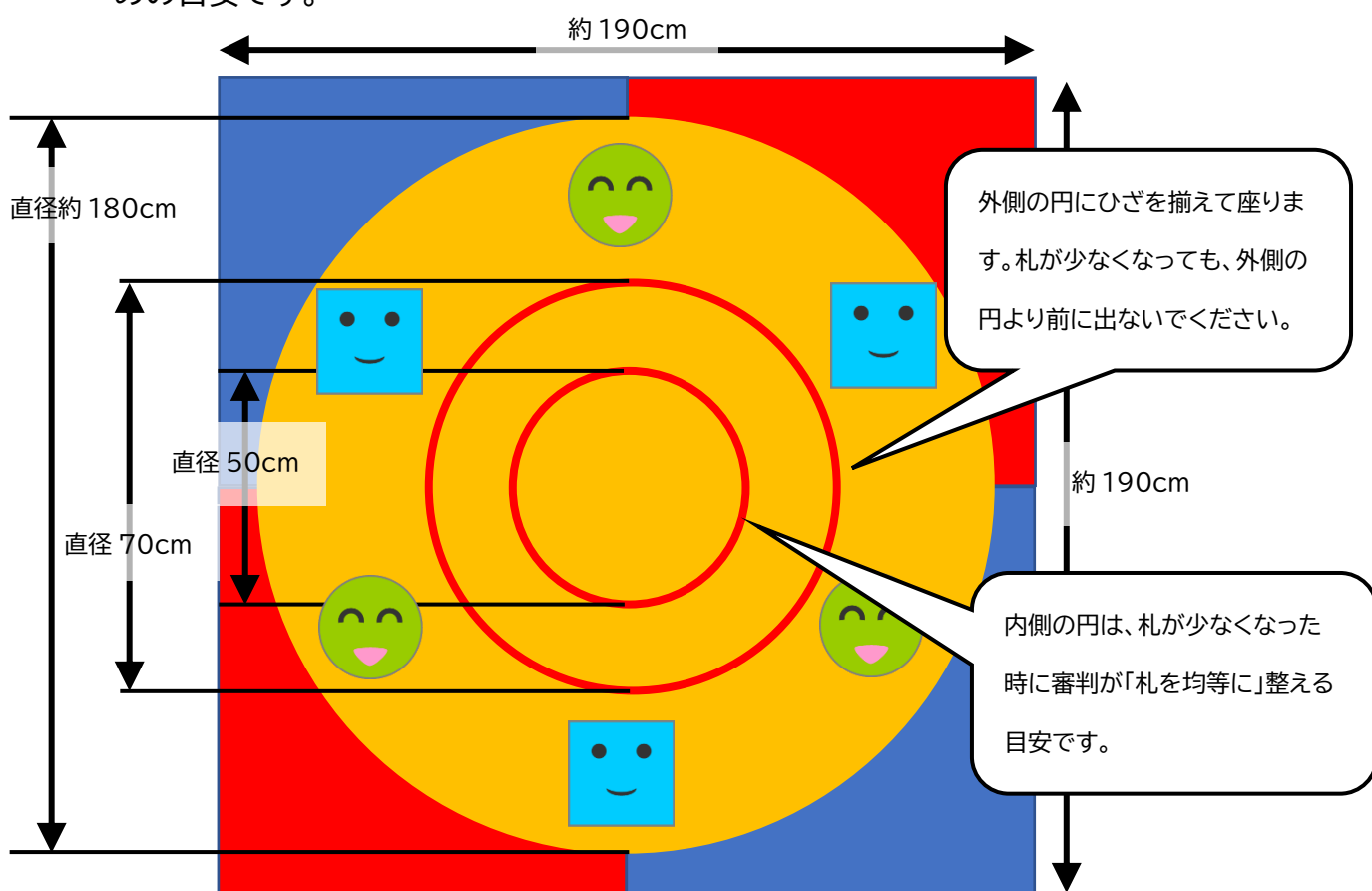


小倉南区かるた大会競技ルールおよび注意事項

【競技の準備】

1. 試合は、3人一組の団体戦とし、6人二組で行います。
2. 6人がかるたマット上に円を描いて、自分のチームと対戦相手が交互になるように座ります。
3. 絵札は、審判員がかるたマット状の直径 70cm の外側の円内に広げて並べます。
選手は、読み手が読み札を読み始めるまで、絵札に触れてはいけません。
4. 選手は、かるたマットにある2つの円のうち「外側の円」にひざを揃えて座ります。
ひざの位置は、試合開始から終了まで外側の円に揃えてください。
絵札が少なくなっても、外側の円より前に座らないでください。
※ 直径 50cm の内側の円は、絵札が残り 20 枚になったときに、絵札を均等に並べるための目安です。



【絵札を覚える時間】

5. 絵札を並べた後、試合開始前に1分間で絵札を覚える時間を設けます。

【読み手】

6. 44枚の読み札から出場チーム数や大会時間に応じて、主催者が定めた4枚以上の読み札

を抜き、残った枚数の札で勝敗を決めます。(試合が終わると主催者が定めた枚数の絵札が残ります。)

7. 読み句は、それぞれ連続して2回読み上げます。

【試合開始】

8. 試合中の基本姿勢として、両手はひざの上においでください。

かるたマットの外側の円にひざを合わせて座り、ひざより前に「頭」を出してはいけません。

9. 絵札を取る時は、しっかりと手で押さえてください。審判は判定するまで押さえた手はそのままにしてください。

百人一首のように絵札を飛ばしても取ったことにはなりません。また、2枚以上の絵札を同時に取ることもできません。

10. お手つきはありません。ただし、わざとお手つきをすることはやめてください。

11. どちらが先に取ったかわからないときは、審判員が判断します。

12. 試合中に選手が絵札の位置を変えてはいけません。

絵札の間にすき間ができたときの並べ替えや残りの絵札が20枚になり内側の円に寄せる作業は、審判員が行います。

【採点方法】

13. 採点は、1枚1点とします。「やく札」は1枚2点とし、「やく札」の読みと枚数は、試合が始まる前に発表します。

試合では、読み札を引き抜きすべての札を読むのではないため、「やく札」が必ず読まれるわけではありません。

14. 採点は、審判員が行います。

15. 同点の場合は、「やく札」が多いほうが勝ちです。

【競技上の注意】

16. 審判の判定には、従ってください。意見や抗議はできません。

17. 騒がしいと読み手の声が聞こえにくくなります。試合中の私語はやめてください。

18. 悪質な行為(わざとのお手つきや頭をひざより前に出すことを繰り返す等の迷惑行為)には、主審が「イエローカード」を出します。1枚目の「イエローカード」を出された後も悪質な行為が続く場合、「レッドカード」を出します。

「レッドカード」を出された選手は、その時点からその試合に出場することはできません。